

表5-8 児童相談所とその他の関係機関との連携

区分	心中以外			心中(未遂を含む)			
	例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合	有効割合	
なし	37	57.8%	64.9%	35	81.4%	89.7%	
あり	20	31.3%	35.1%	4	6.3%	10.3%	
内訳 (再掲)	よく取れていた	8	12.5%	14.0%	3	7.0%	7.7%
	まあまあ取れていた	7	10.9%	12.3%	1	2.3%	2.6%
	あまり取れていなかった	5	7.8%	8.8%	0	0.0%	0.0%
	ほとんど取れていなかった	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
小計	57	89.1%	100%	39	90.7%	100%	
不明	7	10.9%		4	9.3%		
計	64	100%		43	100%		

- 市町村の関与の有無は、判明しているものでみると、心中以外の事例では「あり」が3例(4.7%)、心中事例では「あり」が1例(2.5%)であった。

表5-9 市町村の関与の有無

区分	心中以外			心中(未遂を含む)		
	例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合	有効割合
あり	3	4.7%	4.8%	1	2.3%	2.5%
なし	60	93.8%	95.2%	39	90.7%	97.5%
小計	63	98.4%	100%	40	93.0%	100%
不明	1	1.6%		3	7.0%	
計	64	100%		43	100%	

- 施設入所及び措置解除に関連した死亡事例の子ども事例は、心中以外的事例で1例であり、子どもの年齢は5歳であった。
- 児童相談所以外の関係機関の関与は、心中以外的事例では、虐待の認識の有無に関わらず関与状況をみると、「医療機関」が23例(36.0%)と最も多く、次いで「市町村保健センター」が15例(23.4%)、「養育機関・教育機関」が11例(17.2%)であった。
 心中事例では、「養育機関・教育機関」が16例(37.2%)、「市町村保健センター」が11例(25.6%)であった。

表5-10 児童相談所以外の関係機関の関与

区分	心中以外				心中(未遂を含む)			
	上段:例数 下段:構成割合 / 64例				上段:例数 下段:構成割合 / 43例			
	関 与 な し	関与あり		不 明	関 与 な し	関与あり		不 明
虐待の 認識なし		虐待の 認識あり	虐待の 認識なし			虐待の 認識あり		
福祉事務所	54	4	3	3	32	7	0	4
	84.4%	6.3%	4.7%	4.7%	74.4%	16.3%	0.0%	9.3%
家庭児童相談室	60	0	1	3	37	2	0	4
	93.8%	0.0%	1.6%	4.7%	86.0%	4.7%	0.0%	9.3%
児童委員	57	0	0	7	32	2	0	9
	89.1%	0.0%	0.0%	10.9%	74.4%	4.7%	0.0%	20.9%
保健所	54	3	3	4	37	2	0	4
	84.4%	4.7%	4.7%	6.3%	86.0%	4.7%	0.0%	9.3%
市町村の母子保健担当部署	43	13	2	6	28	11	0	4
	67.2%	20.3%	3.1%	9.4%	65.1%	25.6%	0.0%	9.3%
養育機関・教育機関	49	7	4	4	20	16	0	7
	76.6%	10.9%	6.3%	6.3%	46.5%	37.2%	0.0%	16.3%
医療機関	25	17	6	16	20	6	0	17
	39.1%	26.6%	9.4%	25.0%	46.5%	14.0%	0.0%	39.5%
助産師	47	1	0	16	28	1	0	14
	73.4%	1.6%	0.0%	25.0%	65.1%	2.3%	0.0%	32.6%
警察	52	2	0	10	35	0	0	8
	81.3%	3.1%	0.0%	15.6%	81.4%	0.0%	0.0%	18.6%

6) 子どもを守る地域ネットワーク(要保護児童対策地域協議会)

- 子どもを守る地域ネットワーク(要保護児童対策地域協議会)等の有無は、死亡事例が発生した地域において、「あり」が心中以外の事例で57例(89.1%)、心中事例で42例(97.7%)であった。

表6-1 子どもを守る地域ネットワーク(要保護児童対策地域協議会)等の有無

区分	心中以外		心中(未遂を含む)	
	例数	構成割合	例数	構成割合
あり	57	89.1%	42	97.7%
なし	7	10.9%	1	2.3%
計	64	100%	43	100%

- 子どもを守る地域ネットワーク(要保護児童対策地域協議会)に参加している機関(複数回答)は、「児童相談所」、「市町村担当課」、「福祉事務所」、「保育所」、「幼稚園」、「小学校」、「中学校」、「児童委員」、「警察」、「教育委員会」は参加している率が高い傾向にあった。

表6-2 子どもを守る地域ネットワーク（要保護児童対策地域協議会）に参加している機関（複数回答）

区分	心中以外		心中(未遂を含む)	
	例数	構成割合 ／57例	例数	構成割合 ／42例
児童相談所	56	98.2%	41	97.6%
市町村担当課	53	93.0%	41	97.6%
福祉事務所	54	94.7%	38	90.5%
児童家庭支援センター	14	24.6%	13	31.0%
保健所	49	86.0%	35	83.3%
保健センター	42	73.7%	34	81.0%
医療機関	49	86.0%	33	78.6%
保育所	54	94.7%	39	92.9%
認可外保育施設	4	7.0%	5	11.9%
幼稚園	53	93.0%	33	78.6%
小学校	53	93.0%	38	90.5%
中学校	53	93.0%	38	90.5%
高等学校	7	12.3%	6	14.3%
児童委員	55	96.5%	36	85.7%
警察	57	100%	39	92.9%
裁判所	6	10.5%	4	9.5%
弁護士	22	38.6%	12	28.6%
民間団体	22	38.6%	19	45.2%
教育委員会	53	93.0%	39	92.9%
児童館	14	24.6%	13	31.0%
児童養護施設などの児童福祉施設	27	47.4%	17	40.5%
社会福祉協議会	25	43.9%	23	54.8%
婦人相談所	4	7.0%	8	19.0%
配偶者暴力相談支援センター	4	7.0%	4	9.5%
婦人保護施設	3	5.3%	3	7.1%
その他	20	35.1%	19	45.2%

- 子どもを守る地域ネットワーク（要保護児童対策地域協議会）の一般的な活用度は、心中以外の事例では、「よく活用した」が33例（57.9%）、「ある程度活用した」が22例（38.6%）、「ほとんど活用しなかった」が2例（3.5%）であった。
 心中事例では、「よく活用した」が21例（50.0%）、「ある程度活用した」が18例（42.9%）、「あまり活用しなかった」が3例（7.1%）であった。

表6-3 子どもを守る地域ネットワーク（要保護児童対策地域協議会）の一般的な活用度

区分	心中以外		心中(未遂を含む)	
	例数	構成割合	例数	構成割合
よく活用した	33	57.9%	21	50.0%
ある程度活用した	22	38.6%	18	42.9%
あまり活用しなかった	0	0.0%	3	7.1%
ほとんど活用しなかった	2	3.5%	0	0.0%
計	57	100%	42	100%

- 子どもを守る地域ネットワーク（要保護児童対策地域協議会）における本事例についての検討の有無は、心中以外の事例では2例（3.5%）、心中以外の事例では1例（2.4%）であった。

表6-4 子どもを守る地域ネットワーク（要保護児童対策地域協議会）における本事例についての検討の有無

区分	心中以外		心中(未遂を含む)	
	例数	構成割合	例数	構成割合
あり	2	3.5%	1	2.4%
なし	55	96.5%	41	97.6%
計	57	100%	42	100%

7) 死亡後の対応

- 死亡情報の入手先（複数回答）は、心中以外の事例では、「報道」が42例（65.6%）と最も多く、次いで「警察」が20例（31.3%）、「医療機関」が14例（21.9%）であった。
心中事例では、「報道」が40例（93.0%）であった。

表7-1 死亡情報の入手先（複数回答）

区分	心中以外(64例)		心中(未遂を含む)(43例)	
	例数	構成割合	例数	構成割合
医療機関	14	21.9%	2	4.7%
警察	20	31.3%	15	34.9%
報道	42	65.6%	40	93.0%
家族	11	17.2%	2	4.7%
その他	12	18.8%	9	20.9%

- 行政機関内部による事例についての検証の実施は、心中以外の事例では17例（26.6%）で、心中事例では8例（18.6%）で実施していた。

表7-2 行政機関内部による該当事例についての検証の実施

区分	心中以外		心中(未遂を含む)	
	例数	構成割合	例数	構成割合
実施した	17	26.6%	8	18.6%
実施していない	47	73.4%	34	79.1%
実施中	0	0.0%	1	2.3%
計	64	100%	43	100%

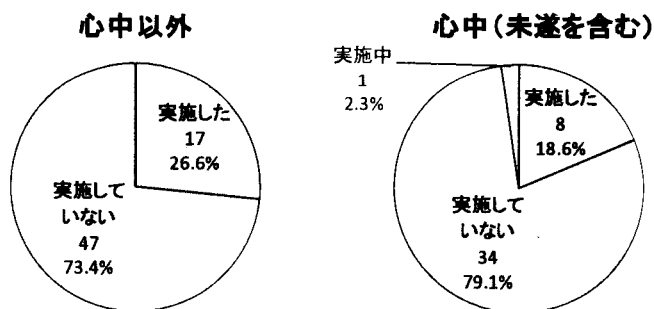


図 7-2 行政機関内部による本事例についての検証の実施

- 行政機関内部による検証における検証チームの構成（複数回答）は、心中以外の事例では、検証を実施した 17 例のうち、「児童相談所」が 16 例（94.1%）、「市町村」が 11 例（64.7%）であった。

心中事例では、検証を実施したないし実施中の 9 事例のうち、「市町村」が 9 事例（100%）、「児童相談所」が 6 例（66.7%）であった。

表 7-3 行政機関内部による検証における検証チームの構成（複数回答）

区分	心中以外(17例)		心中(未遂を含む)(9例)	
	例数	構成割合	例数	構成割合
児童相談所	16	94.1%	6	66.7%
市町村	11	64.7%	9	100%
都道府県・指定都市、児童相談所設置市(本庁)	5	29.4%	5	55.6%
その他の機関	7	41.2%	4	44.4%

- 事例についての第三者による検証の実施は、心中以外の事例では 12 例（18.8%）で、心中事例では 3 例（7.0%）で実施していた。検証の実施中は、心中以外の事例で 6 例（9.4%）、心中事例で 1 例（2.3%）であった。

表 7-4 該当事例についての第三者による検証の実施

区分	心中以外		心中(未遂を含む)	
	例数	構成割合	例数	構成割合
実施した	12	18.8%	3	7.0%
実施していない	46	71.9%	39	90.7%
実施中	6	9.4%	1	2.3%
計	64	100%	43	100%

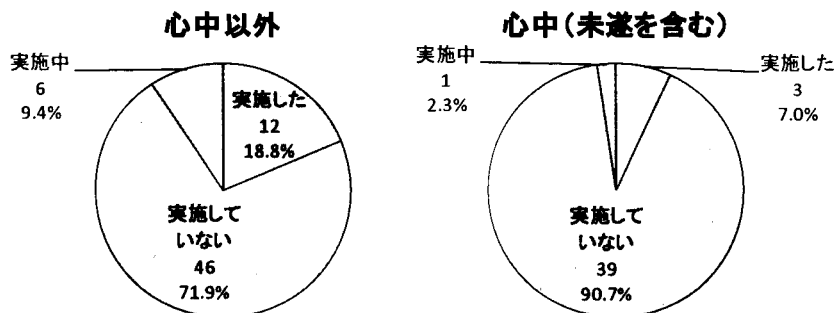


図7-4 該当事例についての第三者による検証の実施

- 本事例に関し、危機感を持つべきだったと思われる時期は、判明しているものと、心中以外の事例では、「死亡前1週間未満」が23例(41.1%)と最も多く、次いで「死亡前半年以上」が14例(25.0%)、「死亡前1週間～1か月未満」と「死亡前1か月～3か月未満」がそれぞれ8例(14.3%)であった。

心中事例では、「死亡前1週間未満」が14例(36.8%)で最も多く、次いで「死亡前半年以上」が9例(23.7%)であった。

表7-5 本事例に関し、危機感を持つべきだったと思われる時期

区分	心中以外			心中(未遂を含む)		
	例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合	有効割合
死亡前1週間未満	23	35.9%	41.1%	14	32.6%	36.8%
死亡前1週間～1か月未満	8	12.5%	14.3%	4	9.3%	10.5%
死亡前1か月～3か月未満	8	12.5%	14.3%	5	11.6%	13.2%
死亡前3か月～半年未満	3	4.7%	5.4%	6	14.0%	15.8%
死亡前半年以上	14	21.9%	25.0%	9	20.9%	23.7%
小計	56	87.5%	100%	38	88.4%	100%
不明・未記入	8	12.5%		5	11.6%	
計	64	100%		43	100%	

8) 残されたきょうだいについて

- 死亡事例全体(107例)のうち、同居しているか否かに関わらずきょうだいの状況を判明しているものと、「ない(ひとりっ子)」が39例(39.0%)であった。「1人(2人きょうだい)」は26例(26.0%)、「2人(3人きょうだい)」が20例(20.0%)、「3人(4人きょうだい)」が8例(8.0%)、「4人(5人きょうだい)」が3例(3.0%)、「5人(6人きょうだい)」が4例(4.0%)であった。

表8-1 きょうだいについて

区分	例数	構成割合	有効割合
なし(ひとりっ子)	39	36.4%	39.0%
1人(2人きょうだい)	26	24.3%	26.0%
2人(3人きょうだい)	20	18.7%	20.0%
3人(4人きょうだい)	8	7.5%	8.0%
4人(5人きょうだい)	3	2.8%	3.0%
5人(6人きょうだい)	4	3.7%	4.0%
小計	100	93.5%	100%
不明	7	6.5%	
計	107	100%	

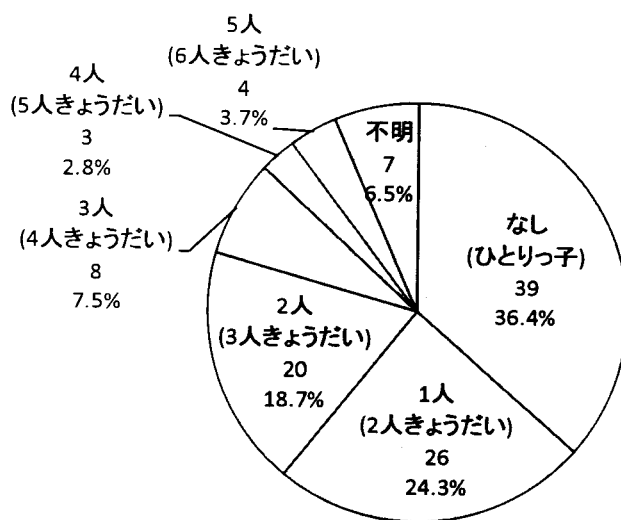


図8-1 きょうだいについて

- 残されたきょうだいの性別は、きょうだいの総数(本人を除く)122人のうち生存している90人をみると、心中以外の事例は、男女とも同数で38人(50.0%)であった。心中事例では、男女とも同数で7人(50.0%)であった。

表8-2 残されたきょうだいの性別

区分	心中以外		心中(未遂を含む)	
	人数	構成割合	人数	構成割合
男	38	50.0%	7	50.0%
女	38	50.0%	7	50.0%
計	76	100%	14	100%

- 残されたきょうだいの年齢は、心中以外の事例では、「0歳」が9人(11.8%)、「6歳」が8人(10.5%)、「13歳」が7人(9.2%)であった。

表8-3 残されたきょうだいの年齢

区分	心中以外		心中(未遂を含む)	
	人数	構成割合	人数	構成割合
0歳	9	11.8%	0	0.0%
1歳	5	6.6%	0	0.0%
2歳	5	6.6%	0	0.0%
3歳	5	6.6%	0	0.0%
4歳	5	6.6%	0	0.0%
5歳	5	6.6%	1	7.1%
6歳	8	10.5%	0	0.0%
7歳	5	6.6%	2	14.3%
8歳	1	1.3%	1	7.1%
9歳	3	3.9%	1	7.1%
10歳	3	3.9%	1	7.1%
11歳	0	0.0%	0	0.0%
12歳	2	2.6%	0	0.0%
13歳	4	5.3%	1	7.1%
14歳	7	9.2%	3	21.4%
15歳	0	0.0%	0	0.0%
16歳	4	5.3%	0	0.0%
17歳	1	1.3%	0	0.0%
18歳	0	0.0%	1	7.1%
19歳	0	0.0%	1	7.1%
20歳以上	4	5.3%	2	14.3%
計	76	100%	14	100%

- 本児死亡時の残されたきょうだいの同居は、判明しているものとみると、同居「あり」が、心中以外の事例では42人(58.3%)、心中事例では13人(92.9%)であった。

表8-4 本児死亡時の残されたきょうだいの同居

区分	心中以外			心中(未遂を含む)		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
あり	42	55.3%	58.3%	13	92.9%	92.9%
なし	30	39.5%	41.6%	1	7.1%	7.1%
小計	72	94.7%	100%	14	100%	100%
不明	4	5.3%		0	0.0%	
計	76	100%		14	100%	

- 残されたきょうだいの養育機関・教育機関等の所属は、判明しているものと、心中以外の事例では、「なし」が21人(29.2%)、「小学校」が18人(25.0%)、「保育所」

が16人(22.2%)であった。

心中事例では、「小学校」が5人(50.0%)、「中学校」が4人(40.0%)であった。

表8-5 残されたきょうだいの養育機関・教育機関等の所属

区分	心中以外			心中(未遂を含む)		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
なし	21	27.6%	29.2%	0	0.0%	0.0%
保育所	16	21.1%	22.2%	0	0.0%	0.0%
幼稚園	1	1.3%	1.4%	1	7.1%	10.0%
小学校	18	23.7%	25.0%	5	35.7%	50.0%
中学校	11	14.5%	15.3%	4	28.6%	40.0%
高等学校	4	5.3%	5.6%	0	0.0%	0.0%
大学	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
その他	1	1.3%	1.4%	0	0.0%	0.0%
小計	72	94.7%	100%	10	0.0%	100%
不明	4	5.3%		4	28.6%	
計	76	100%		14	100%	

- 残されたきょうだいの虐待を受けた体験は、判明しているものと、体験「あり」が、心中以外の事例では14人(37.8%)、心中事例ではいなかった。

表8-6 残されたきょうだいの虐待を受けた体験

区分	心中以外			心中(未遂を含む)		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
あり	14	18.4%	37.8%	0	0.0%	0.0%
なし	23	30.3%	62.2%	3	21.4%	100%
小計	37	48.7%	100%	3	21.4%	100%
不明	39	51.3%		11	78.6%	
計	76	100%		14	100%	

- 残されたきょうだいへの過去の児童相談所の関与は、過去に児童相談所の関与「あり」は、心中以外の事例では22人(28.9%)、心中以外の事例では1人(7.1%)であった。

表8-7 残されたきょうだいへの過去の児童相談所の関与

区分	心中以外		心中(未遂を含む)	
	人数	構成割合	人数	構成割合
あり	22	28.9%	1	7.1%
なし	54	71.1%	13	92.9%
計	76	100%	14	100%

- 残されたきょうだいへの過去の市町村の関与は、判明しているものと、心中以外の事例では、過去の市町村の関与「あり」は19人(26.8%)、「なし」は52人(73.2%)

であった。

心中事例では、市町村の関与はなかった。

表 8-8 残されたきょうだいへの市町村の関与

区分	心中以外			心中(未遂を含む)		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
あり	19	25.0%	26.8%	0	0.0%	0.0%
なし	52	68.4%	73.2%	14	100%	100%
小計	71	93.4%	100%	14	100%	100%
不明	5	6.6%		0	0.0%	
計	76	100%		14	100%	

- 本児死亡時の残されたきょうだいへの対応は、心中以外的事例では、「あり」が 25 例 (71.4%) であった。また、死亡時の対応があった 25 例の対応状況は、「安全確認」が 20 例 (57.1%)、「親からの分離」が 10 例 (28.6%)、「面接」が 8 例 (22.9%)、「心理的ケア」が 6 例 (17.1%) であった。しかし、対応なしも 10 例 (28.6%) あった。

心中事例では、「あり」が 5 例 (50.0%) であり、その対応状況は、「安全確認」が 5 例 (50.0%)、心理的ケアが 2 例 (20.0%)、「面接」が 1 例 (10.0%) であった。

表 8-9 残されたきょうだいに対する本児死亡時の対応（「対応内容」は複数回答）

区分	心中以外		心中(未遂を含む)		
	例数	構成割合 ／35例	例数	構成割合 ／10例	
なし	10	28.6%	5	50.0%	
あり	25	71.4%	5	50.0%	
内訳(再掲) (複数回答)	安全確認	20	57.1%	5	50.0%
	面接	8	22.9%	1	10.0%
	親からの分離	10	28.6%	0	0.0%
	心理的ケア	6	17.1%	2	20.0%

- 残されたきょうだいの居所は、判明しているものでみると、心中以外的事例では、「自宅」が 23 人 (33.8%)、「児童養護施設」が 22 人 (32.4%)、「祖父母宅」が 10 人 (14.7%) であった。

心中事例では、「自宅」が 5 人 (45.5%)、「祖父母宅」が 4 人 (36.4%) であった。

表 8-10 残されたきょうだいの居所

区分	心中以外			心中(未遂を含む)		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
自宅	23	30.3%	33.8%	5	35.7%	45.5%
祖父母宅	10	13.2%	14.7%	4	28.6%	36.4%
児童養護施設	22	28.9%	32.4%	0	0.0%	0.0%
その他	13	17.1%	19.1%	2	14.3%	18.2%
小計	68	89.5%	100%	11	78.6%	100%
不明	8	10.5%		3	21.4%	
計	76	100%		14	100%	

9) 3歳未満と3歳以上の比較

第5次報告と同様に、今回も心中以外の事例では、3歳未満の死亡が7割以上を占めていたため、心中以外の事例64例(67人)について、3歳未満と3歳以上で比較分析を行った。

- 性別は、判明しているものでみると、3歳未満では、男が22人(52.4%)、女が20人(47.6%)であり、3歳以上では、男が11人(57.9%)、女が8人(42.1%)で、いずれにおいても男の方が多かった。

表9-1 性別

区分	3歳未満			3歳以上	
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合
男	22	46.8%	52.4%	11	57.9%
女	20	42.6%	47.6%	8	42.1%
小計	42	89.4%	100%	19	100.0%
不明	5	10.6%		0	0.0%
計	47	100%		19	100%

<参考>平成15年7月から平成20年3月まで

区分	3歳未満			3歳以上		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
男	83	49.4%	49.7%	53	54.1%	54.6%
女	84	50.0%	50.3%	44	44.9%	45.4%
小計	167	99.4%	100%	97	99.0%	100%
不明	1	0.6%		1	1.0%	
計	168	100%		98	100%	

- 主たる虐待の種類は、判明しているものでみると、3歳未満では、「身体的虐待」が28人(73.7%)、「ネグレクト」が10人(26.3%)であった。3歳以上では、「身体的虐待」が15人(88.2%)、「ネグレクト」が2人(11.8%)であった。

表9-2-1 主たる虐待の種類

区分	3歳未満			3歳以上		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
身体的虐待	28	59.6%	73.7%	15	78.9%	88.2%
ネグレクト	10	21.3%	26.3%	2	10.5%	11.8%
小計	38	80.9%	100%	17	89.5%	100%
不明	9	19.1%		2	10.5%	
計	47	100%		19	100%	

<参考>平成15年7月から平成20年3月まで

区分	3歳未満			3歳以上		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
身体的虐待	116	69.0%	70.3%	74	75.5%	77.1%
ネグレクト	49	29.2%	29.7%	21	21.4%	21.9%
その他	0	0.0%	0.0%	1	1.0%	1.0%
小計	165	98.2%	100%	96	98.0%	100%
不明	3	1.8%		2	2.0%	
計	168	100%		98	100%	

- 確認された虐待の種類(複数回答)は、「身体的虐待」は、3歳未満では28人(59.6%)、3歳以上では15人(78.9%)、「ネグレクト」は、3歳未満では11人(23.4%)、3歳以上では5人(26.3%)、「心理的虐待」は、3歳未満では2人(4.3%)、3歳以上では4人(21.1%)であった。

表9-2-2 確認された虐待の種類(複数回答)

区分	3歳未満		3歳以上	
	人数	構成割合 /47人	人数	構成割合 /19人
身体的虐待	28	59.6%	15	78.9%
ネグレクト	11	23.4%	5	26.3%
心理的虐待	2	4.3%	4	21.1%

<参考>平成18年1月から平成20年3月まで

区分	3歳未満		3歳以上	
	人数	構成割合 /86人	人数	構成割合 /53人
身体的虐待	56	65.1%	37	69.8%
ネグレクト	38	44.2%	34	64.2%
心理的虐待	3	3.5%	7	13.2%

- 直接死因は、判明しているものと、3歳未満では、「溺水」が8人(24.2%)、「頭部外傷」と「頸部絞扼以外による窒息」がそれぞれ7人(21.2%)であった。3歳以上では、「頭部外傷」が7人(38.9%)、「頸部絞扼以外による窒息」が4人(22.5%)であった。

表9-3 直接死因

区分	3歳未満			3歳以上			
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	
頭部外傷	7	14.9%	21.2%	7	36.8%	38.9%	
腹部外傷	2	4.3%	6.1%	1	5.3%	5.6%	
頸部絞扼による窒息	1	2.1%	3.0%	4	21.1%	22.2%	
頸部絞扼以外による窒息	7	14.9%	21.2%	0	0.0%	0.0%	
溺水	8	17.0%	24.2%	1	5.3%	5.6%	
出血性ショック	2	4.3%	6.1%	0	0.0%	0.0%	
低栄養による衰弱	1	2.1%	3.0%	0	0.0%	0.0%	
火災による熱傷・一酸化炭素中毒	1	2.1%	3.0%	2	10.5%	11.1%	
病死	2	4.3%	6.1%	1	5.3%	5.6%	
その他	2	4.3%	6.1%	2	10.5%	11.1%	
内訳 (再掲)	プラスチック製ゴミ箱に入れて ふたをし放置、窒息死	1	2.1%	3.0%	0	0.0%	0.0%
	焼死	0	0.0%	0.0%	2	10.5%	11.1%
	頭部打撲による脳障害	1	2.1%	3.0%	0	0.0%	0.0%
小計	33	70.2%	100%	18	94.7%	100%	
不明	14	29.8%		1	5.3%		
計	47	100%		19	26%		

<参考>平成18年1月から平成20年3月まで

区分	3歳未満			3歳以上			
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	
頭部外傷	18	20.9%	24.7%	11	20.8%	21.2%	
腹部外傷	2	2.3%	2.7%	2	3.8%	3.8%	
外傷性ショック	2	2.3%	2.7%	1	1.9%	1.9%	
頸部絞扼による窒息	5	5.8%	6.8%	10	18.9%	19.2%	
頸部絞扼以外による窒息	17	19.8%	23.3%	3	5.7%	5.8%	
溺水	6	7.0%	8.2%	2	3.8%	3.8%	
熱傷	2	2.3%	2.7%	0	0.0%	0.0%	
車内放置による熱中症・脱水	4	4.7%	5.5%	0	0.0%	0.0%	
低栄養による衰弱	4	4.7%	5.5%	4	7.5%	7.7%	
凍死	1	1.2%	1.4%	0	0.0%	0.0%	
火災による熱傷・一酸化炭素中毒	7	8.1%	9.6%	13	24.5%	25.0%	
病死	1	1.2%	1.4%	1	1.9%	1.9%	
その他	4	4.7%	5.5%	5	9.4%	9.6%	
内訳(再掲)	結腸壊死	0	0.0%	0.0%	1	1.9%	1.9%
	頸部外傷	1	1.2%	1.4%	0	0.0%	0.0%
	頭部顔面を含む全身打撲	0	0.0%	0.0%	1	1.9%	1.9%
	高所から投げ落とす	1	1.2%	1.4%	0	0.0%	0.0%
	急性硬膜下血腫	0	0.0%	0.0%	1	1.9%	1.9%
	低酸素脳症	0	0.0%	0.0%	1	1.9%	1.9%
	揺さぶられ症候群による頭蓋 内出血	1	1.2%	1.4%	0	0.0%	0.0%
	低体温症	0	0.0%	0.0%	1	1.9%	1.9%
	トイレで出産後遺棄	1	1.2%	1.4%	0	0.0%	0.0%
小計	73	84.9%	100%	52	98.1%	100%	
不明	13	15.1%		1	1.9%		
計	86	100%		53	100%		

- 主たる加害者は、判明しているものでみると、「実母」は、3歳未満では26人(63.4%)、3歳以上では10人(52.6%)であった。「実父」は、3歳未満では8人(19.5%)、3歳以上では2人(10.5%)であった。また、「実父母」は、3歳未満では5人(12.2%)であった。

表9-4 主たる加害者

区分	3歳未満			3歳以上			
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	
実母	26	55.3%	63.4%	10	52.6%	52.6%	
実父	8	17.0%	19.5%	2	10.5%	10.5%	
養母	0	0.0%	0.0%	1	5.3%	5.3%	
母の交際相手	1	2.1%	2.4%	1	5.3%	5.3%	
父方祖父	0	0.0%	0.0%	1	5.3%	5.3%	
実母と	実父	5	10.6%	12.2%	0	0.0%	0.0%
	養父	1	2.1%	2.4%	1	5.3%	5.3%
	母の交際相手	0	0.0%	0.0%	3	15.8%	15.8%
小計	41	87.2%	100%	19	100%	100%	
不明	6	12.8%		0	0.0%		
計	47	100%		19	100%		

<参考>平成15年7月から平成20年3月まで

区分	3歳未満			3歳以上			
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	
実母	94	56.0%	57.0%	47	48.0%	49.0%	
実父	41	24.4%	24.8%	9	9.2%	9.4%	
継母	0	0.0%	0.0%	3	3.1%	3.1%	
継父	0	0.0%	0.0%	4	4.1%	4.2%	
養母	0	0.0%	0.0%	1	1.0%	1.0%	
養夫	1	0.6%	0.6%	1	1.0%	1.0%	
母方祖母	2	1.2%	1.2%	1	1.0%	1.0%	
母の交際相手	10	6.0%	6.1%	10	10.2%	10.4%	
実母と	実父	12	7.1%	7.3%	7	7.1%	7.3%
	母の交際相手	0	0.0%	0.0%	5	5.1%	5.2%
	養父	1	0.6%	0.6%	1	1.0%	1.0%
	その他	1	0.6%	0.6%	2	2.0%	2.1%
その他	3	1.8%	1.8%	5	5.1%	5.2%	
小計	165	98.2%	100%	96	98%	100%	
不明	3	1.8%		2	2.0%		
計	168	100%		98	100%		

- 加害の動機は、判明しているものでみると、3歳未満では、「子どもの存在の拒否・否定」が8人(29.6%)と最も多く、次いで「泣きやまないことにいらだったため」が5人(18.5%)であった。3歳以上では、「しつけのつもり」が8人(50.0%)であった。

表9-5 加害の動機

区分	3歳未満			3歳以上		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
しつけのつもり	1	2.1%	3.7%	8	42.1%	50.0%
子どもがなつかない	1	2.1%	3.7%	0	0.0%	0.0%
パートナーへの愛情を独占されたなど、 子供に対する嫉妬心	1	2.1%	3.7%	0	0.0%	0.0%
精神症状による行為(妄想などによる)	0	0.0%	0.0%	2	10.5%	12.5%
MSBP(ミュンヒハウゼン氏症候群)	2	4.3%	7.4%	1	5.3%	6.3%
保護を怠ったことによる死亡	2	4.3%	7.4%	2	10.5%	12.5%
子どもの存在の拒否・否定	8	17.0%	29.6%	0	0.0%	0.0%
泣きやまないことにいらだったため	5	10.6%	18.5%	0	0.0%	0.0%
その他	7	14.9%	25.9%	3	15.8%	18.8%
小計	27	57.4%	100%	16	84.2%	100%
不明	20	42.6%		3	15.8%	
計	47	100%		19	100%	

<参考>平成18年1月から平成20年3月まで

区分	3歳未満			3歳以上		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
しつけのつもり	3	3.5%	5.1%	13	24.5%	33.3%
子どもがなつかない	2	2.3%	3.4%	1	1.9%	2.6%
パートナーへの愛情を独占されたなど、 子供に対する嫉妬心	1	1.2%	1.7%	1	1.9%	2.6%
慢性の疾患や障害の苦しみから子どもを 救おうという主観的意図	1	1.2%	1.7%	3	5.7%	7.7%
精神症状による行為(妄想などによる)	7	8.1%	11.9%	4	7.5%	10.3%
保護を怠ったことによる死亡	18	20.9%	30.5%	13	24.5%	33.3%
子どもの存在の拒否・否定	10	11.6%	16.9%	1	1.9%	2.6%
泣きやまないことにはいらだったため	15	17.4%	25.4%	2	3.8%	5.1%
その他	2	2.3%	3.4%	1	1.9%	2.6%
小計	59	68.6%	100%	39	73.6%	100%
不明	27	31.4%		14	26.4%	
計	86	100%		53	100%	

- 虐待通告は、判明しているものと、3歳未満では、虐待通告「あり」は3例(6.7%)であり、通告先は「児童相談所」が2例(4.4%)、「福祉事務所」が1例(2.2%)であった。3歳以上では、虐待通告「あり」が4例(23.5%)であり、通告先は「児童相談所」が3例(17.6%)、「市町村」が1例(5.9%)であった。

表9-6 虐待通告の有無

区分	3歳未満			3歳以上			
	例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合	有効割合	
なし	42	91.3%	93.3%	13	76.5%	76.5%	
あり	3	6.5%	6.7%	4	23.5%	23.5%	
内訳(再掲)	児童相談所	2	4.3%	4.4%	3	17.6%	17.6%
	市町村	0	0.0%	0.0%	1	5.9%	5.9%
	福祉事務所	1	2.2%	2.2%	0	0.0%	0.0%
小計	45	97.8%	100%	17	100%	100%	
不明	1	2.2%		0	0.0%		
計	46	100%		17	100%		

<参考>平成19年1月から平成20年3月まで

区分	3歳未満		3歳以上		
	例数	構成割合	例数	構成割合	
なし	44	86.3%	14	63.6%	
あり	7	13.7%	8	36.4%	
内訳(再掲)	児童相談所	1	2.0%	6	27.3%
	市町村	5	9.8%	2	9.1%
	その他	1	2.0%	0	0.0%
計	51	100%	22	100%	

- 児童相談所の関与は、判明しているものでみると、関与「あり」は、3歳未満で2例(4.4%)、3歳以上で5例(29.4%)であった。一方、市町村の関与は、判明しているものでみると、関与「あり」は、3歳未満で1例(2.2%)、3歳以上で2例(11.8%)であった。

表9-7 児童相談所の関与

区分	3歳未満			3歳以上		
	例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合	有効割合
あり	2	4.3%	4.4%	5	29.4%	29.4%
なし	43	93.5%	95.6%	12	70.6%	70.6%
小計	45	97.8%	100%	17	100%	100%
不明	1	2.2%		0	0.0%	
計	46	100%		17	100%	

<参考>平成19年1月から平成20年3月まで

区分	3歳未満		3歳以上	
	例数	構成割合	例数	構成割合
あり	7	13.7%	8	36.4%
なし	44	86.3%	14	63.6%
計	51	100%	22	100%

表9-8 市町村の関与

区分	3歳未満			3歳以上		
	例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合	有効割合
あり	1	2.2%	2.2%	2	11.8%	11.8%
なし	44	95.7%	97.8%	15	88.2%	88.2%
小計	45	97.8%	100%	17	100%	100%
不明	1	2.2%		0	0.0%	
計	46	100%		17	100%	

<参考>平成19年1月から平成20年3月まで

区分	3歳未満			3歳以上	
	例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合
あり	8	15.7%	17.0%	7	31.8%
なし	39	76.5%	83.0%	15	68.2%
小計	47	92.2%	100%	22	100%
不明	4	7.8%		0	0.0%
計	51	100%		11	100%

- 虐待の認識の有無に関わらず、児童相談所を含む関係機関の関与状況を判明しているものとみると、「いずれか関与あり」は、3歳未満で21例（63.6%）、3歳以上で13例（86.7%）であった。「全く関与なし」は、3歳未満で12例（36.4%）、3歳以上で2例（13.3%）であった。

表9-9 児童相談所を含む関係機関の関与状況

区分	3歳未満			3歳以上		
	例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合	有効割合
いずれかの関与あり	21	45.7%	63.6%	13	76.5%	86.7%
全く関与なし	12	26.1%	36.4%	2	11.8%	13.3%
小計	33	71.7%	100%	15	88.2%	100%
不明	13	28.3%		2	11.8%	
計	46	100%		17	100%	

<参考>平成18年1月から平成20年3月まで

区分	3歳未満			3歳以上		
	例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合	有効割合
いずれかの関与あり	49	59.0%	75.4%	42	82.4%	93.3%
全く関与なし	16	19.3%	24.6%	3	5.9%	6.7%
小計	65	78.3%	100%	45	88.2%	100%
不明	18	21.7%		6	11.8%	
計	83	100%		51	100%	

- 死亡後の残されたきょうだいへの対応状況は、3歳未満では、対応「あり」は17例（68.0%）であり、対応内容は、「安全確認」が13例（76.5%）、「親からの分離」が6例（35.3%）、「面接」が4例（23.5%）、「心理的ケア」が3例（17.6%）であった。
3歳以上では、対応「あり」は7例（77.8%）であり、対応内容は「安全確認」が6例（85.7%）、「面接」と「親からの分離」が3例（42.9%）、「心理的ケア」が2例（28.6%）であった。

表9-10 死亡後の残されたきょうだいへの対応状況

区分		3歳未満		3歳以上	
		例数	構成割合	例数	構成割合
なし		8	32.0%	2	22.2%
あり		17	68.0%	7	77.8%
対応内容 (複数回答)	安全確認	13	76.5%	6	85.7%
	面接	4	23.5%	3	42.9%
	親からの分離	6	35.3%	3	42.9%
	心理的ケア	3	17.6%	2	28.6%
計		25	98%	9	100%

<参考>平成19年1月から平成20年3月まで

区分		3歳未満			3歳以上	
		例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合
なし		7	26.9%	28.0%	3	27.3%
あり		18	69.2%	72.0%	8	72.7%
対応内容 (複数回答)	安全確認	15	57.7%	60.0%	7	63.6%
	面接	10	38.5%	40.0%	4	36.4%
	親からの分離	9	34.6%	36.0%	5	45.5%
	心理的ケア	5	19.2%	20.0%	8	72.7%
小計		25	96.2%	100%	11	100%
不明		1	3.8%		0	0.0%
計		26	100%		11	100%

10) 0歳児の死亡について

ここでは、0歳児の死亡事例の実態を明らかにするために、0歳児の死亡例46人について検討する。

- 0歳児の死亡事例は、心中以外の事例では39人で、心中事例では7人であった。0歳児を月齢別にみると、心中以外の事例は、0か月が26人(66.7%)、1か月が1人(2.6%)、2か月が2人(5.1%)で、3か月未満が74.4%を占めていた。

表10-1 0歳児月齢別

区分	平成19年1月から平成20年3月						平成20年4月から平成21年3月					
	心中以外			心中(未遂を含む)			心中以外			心中(未遂を含む)		
	人数	構成割合	累積構成割合	人数	構成割合	累積構成割合	人数	構成割合	累積構成割合	人数	構成割合	累積構成割合
0か月	17	45.9%	45.9%	1	11.1%	11.1%	26	66.7%	66.7%	0	0.0%	0.0%
1か月	1	2.7%	48.6%	2	22.2%	33.3%	1	2.6%	69.2%	0	0.0%	0.0%
2か月	5	13.5%	62.2%	0	0.0%	33.3%	2	5.1%	74.4%	0	0.0%	0.0%
3か月	3	8.1%	70.3%	1	11.1%	44.4%	0	0.0%	74.4%	1	14.3%	14.3%
4か月	1	2.7%	73.0%	1	11.1%	55.6%	1	2.6%	76.9%	0	0.0%	14.3%
5か月	4	10.8%	83.8%	0	0.0%	55.6%	0	0.0%	76.9%	1	14.3%	28.6%
6か月	1	2.7%	86.5%	0	0.0%	55.6%	2	5.1%	82.1%	2	28.6%	57.1%
7か月	2	5.4%	91.9%	1	11.1%	67%	2	5.1%	87.2%	3	42.9%	100%
8か月	0	0.0%	91.9%	1	11.1%	77.8%	1	2.6%	89.7%	0	0.0%	
9か月	2	5.4%	97.3%	1	11.1%	88.9%	2	5.1%	94.9%	0	0.0%	
10か月	1	2.7%	100%	0	0.0%	88.9%	0	0.0%	94.9%	0	0.0%	
11か月	0	0.0%		1	11.1%	100%	0	0.0%	94.9%	0	0.0%	
月齢不明	0	0.0%		0	0.0%		2	5.1%	100%	0	0.0%	
計	37	100%		9	100%		39	100%		7	100%	

<参考>平成15年7月から平成20年3月まで

区分	平成15年7月から平成20年3月					
	心中以外			心中(未遂を含む)		
	人数	構成割合	累積構成割合	人数	構成割合	累積構成割合
0か月	44	39.6%	39.6%	2	8.7%	8.7%
1か月	5	4.5%	44.1%	4	17.4%	26.1%
2か月	15	13.5%	57.7%	0	0.0%	26.1%
3か月	7	6.3%	64.0%	3	13.0%	39.1%
4か月	8	7.2%	71.2%	3	13.0%	52.2%
5か月	6	5.4%	76.6%	1	4.3%	56.5%
6か月	6	5.4%	82.0%	0	0.0%	56.5%
7か月	4	3.6%	85.6%	1	4.3%	61%
8か月	2	1.8%	87.4%	2	8.7%	69.6%
9か月	4	3.6%	91.0%	2	8.7%	78.3%
10か月	6	5.4%	96%	1	4.3%	82.6%
11か月	1	0.9%	97.3%	4	17.4%	100%
月齢不明	3	2.7%	100%	0	0.0%	
計	111	100%		23	100%	

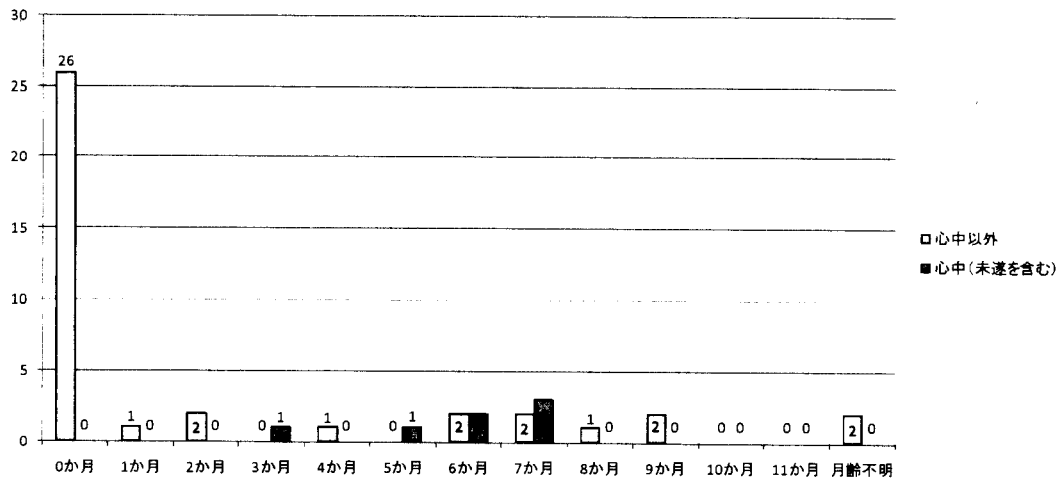


図10-1 0歳児月齢別

- 加害者は、判明しているものでみると、心中以外の事例では、「実母」が22人(64.7%)と最も多く、「実父」が7人(20.6%)、「実父母」が4人(10.3%)であった。
 心中事例では、「実母」が4人(66.7%)であった。

表10-2 加害者

区分	心中以外			心中(未遂を含む)			
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	
実母	22	56.4%	64.7%	4	57.1%	66.7%	
実父	7	17.9%	20.6%	1	14.3%	16.7%	
母方祖父	0	0.0%	0.0%	1	14.3%	16.7%	
実母	実父	4	10.3%	11.8%	0	0.0%	0.0%
	養父	1	2.6%	2.9%	0	0.0%	0.0%
小計	34	87.2%	100%	6	85.7%	100%	
不明	5	12.8%		1	14.3%		
計	39	100%		7	100%		

<参考>平成19年1月から平成20年3月まで

区分	心中以外		心中(未遂を含む)	
	例数	構成割合	例数	構成割合
実母	20	55.6%	6	100%
実父	10	27.8%	0	0.0%
母方祖母	1	2.8%	0	0.0%
実母と実父	5	13.9%	0	0.0%
計	36	100%	6	100%

- 養育者の状況は、判明しているものでみると、心中以外の事例では、「実父母」が 15 人 (42.9%) と最も多く、次いで「一人親 (未婚)」が 11 人 (31.4%)、「内縁関係」が 4 人 (11.4%)、「一人親 (離婚)」が 3 人 (8.6%) であった。

心中事例では、「実父母」が 4 人 (80.0%) であった。

表 10-3 養育者の状況

区分	心中以外			心中(未遂を含む)		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
実父母	15	38.5%	42.9%	4	57.1%	80.0%
一人親(離婚)	3	7.7%	8.6%	0	0.0%	0.0%
一人親(未婚)	11	28.2%	31.4%	0	0.0%	0.0%
内縁関係	4	10.3%	11.4%	0	0.0%	0.0%
その他	2	5.1%	5.7%	1	14.3%	20.0%
小計	35	89.7%	100%	5	71.4%	100%
不明	4	10.3%		2	28.6%	
計	39	100%		7	100%	

<参考>平成18年1月から平成20年3月まで

区分	心中以外			心中(未遂を含む)		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
実父母	30	55.6%	69.8%	8	61.5%	100.0%
一人親(離婚)	3	5.6%	7.0%	0	0.0%	0.0%
一人親(未婚)	9	16.7%	20.9%	0	0.0%	0.0%
内縁関係	1	1.9%	2.3%	0	0.0%	0.0%
小計	43	79.6%	100%	8	61.5%	100%
不明	11	20.4%		5	38.5%	
計	54	100%		13	100%	

- 本児死亡時の実母・実父の年齢は、判明しているものでみると、心中以外の事例では、実母は「35歳～39歳」で9人(23.7%)、「25歳～29歳」で8人(21.1%)、「20歳～24歳」で7人(18.4%)であった。実父は「20歳～24歳」で5人(17.2%)であった。

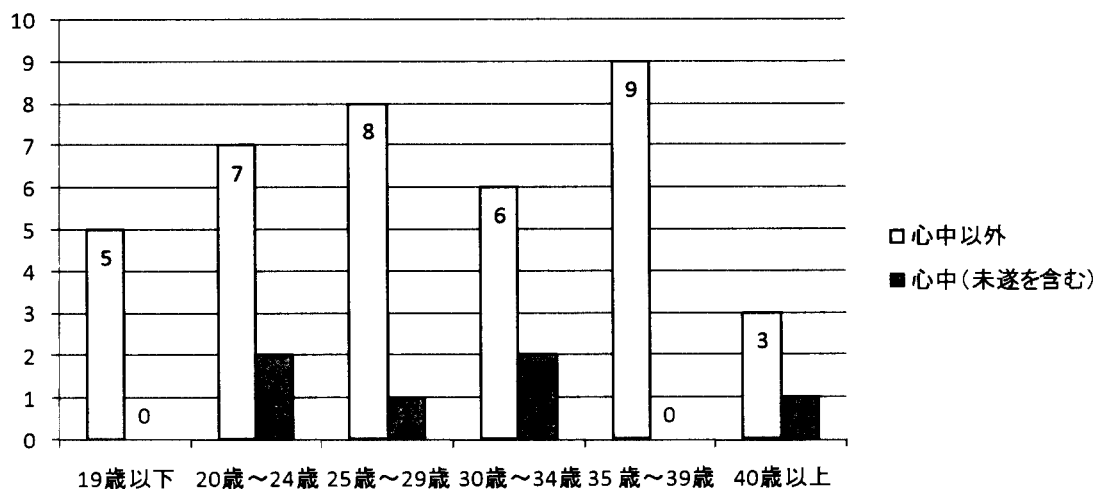
心中事例では、実母は「20歳～24歳」と「30歳～34歳」でそれぞれ2人(33.3%)、実父は「25歳～29歳」で2人(33.3%)であった。

表10-4 本児死亡時の実母・実父の年齢

区分	心中以外						心中(未遂を含む)						
	実母			実父			実母			実父			
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	
いない	0	0.0%	0.0%	11	28.2%	37.9%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	
いる	38	97.4%	100%	18	46.2%	62.1%	6	85.7%	100%	6	85.7%	100%	
内訳	19歳以下	5	12.8%	13.2%	1	2.6%	3.4%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
(再掲)	20歳～24歳	7	17.9%	18.4%	5	12.8%	17.2%	2	28.6%	33.3%	1	14.3%	16.7%
	25歳～29歳	8	20.5%	21.1%	3	7.7%	10.3%	1	14.3%	16.7%	2	28.6%	33.3%
	30歳～34歳	6	15.4%	15.8%	3	7.7%	10.3%	2	28.6%	33.3%	1	14.3%	16.7%
	35歳～39歳	9	23.1%	23.7%	1	2.6%	3.4%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
	40歳以上	3	7.7%	7.9%	5	12.8%	17.2%	1	14.3%	16.7%	2	28.6%	33.3%
	小計	38	97.4%	100%	29	74.4%	100%	6	85.7%	100%	6	85.7%	100%
不明		1	2.6%		10	25.6%		1	14.3%		1	14.3%	
	計	39	100%		39	100%		7	100%		7	100%	

<参考>平成18年1月から平成20年3月まで

区分	心中以外						心中(未遂を含む)		
	実母			実父			実母		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
19歳以下	11	22.4%	23.4%	3	7.1%	10.0%	0	0.0%	0.0%
20歳～24歳	9	18.4%	19.1%	5	11.9%	16.7%	0	0.0%	0.0%
25歳～29歳	6	12.2%	12.8%	8	19.0%	26.7%	6	46.2%	60.0%
30歳～34歳	10	20.4%	21.3%	5	11.9%	16.7%	3	23.1%	30.0%
35歳～39歳	7	14.3%	14.9%	7	16.7%	23.3%	1	7.7%	10.0%
40歳以上	4	8.2%	8.5%	2	4.8%	6.7%	0	0.0%	0.0%
小計	47	95.9%	100%	30	71.4%	100%	10	76.9%	100%
不明	2	4.1%		12	28.6%		3	23.1%	
計	49	100%		42	100%		13	100%	



※実母の有無不明例を除く (単位: 人)

図10-4 本児死亡時の実母の年齢